

# 大原やすお

## 福岡市議会議員 《早良区》

ご挨拶



未稿

暑さきびしい折から、みな様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
九州北部を襲った集中豪雨により甚大な被害があり、改めて自然の猛威を知らされました。  
被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。  
さて、福岡市は「人と環境と都市が調和のとれたアジアのリーダー都市をめざす」との  
目標を掲げ、アジアに近い地の利を生かし、アジアの活力を取り込みながら、  
これまで本市で蓄積された環境保護や  
都市機能、高齢化社会への対応等のノウハウを基に、新たな産業を確立して、  
アジアを牽引する存在感のある都市を目指しています。  
私は、そのことも大事だとは思いますが、便利さや快適さを求めるあまり見失いがちな、  
家族や地域のなかで培われるふれあいや思いやりを大切にしていける社会を目指していくことこそ  
リーダー都市ではないかと思っています。  
これからも、住みやすく暮らしやすい地域実現のために尽くして行きたいと思っています。

大原やすお

### 平成24年度・福岡市の重要施策と予算

福岡市の平成24年度予算は「暮らしの質の向上」と「都市の成長」を二本柱として特に力を入れて取り組んでいくとともに、「人と環境と都市が調和のとれたアジアのリーダー都市・福岡」の実現に向け、様々な重要施策を積極的に推進していくとしています。(なお、福岡市今年度の一般会計予算は7662億円で市民一人当たりになると約53万円となります。)

『人』を大切に、すべての人が夢を持ち、活躍できる『ユニバーサルシティ福岡』の実現

- ① ユニバーサルシティ福岡の推進(鉄道施設のバリアフリー化0.3億円)
- ② 高齢者も障がい者も住みやすいまちづくり(特別養護老人ホーム建設助成13億円他)
- ③ 健やかな子どもの育成(保育園待機児の解消20億円他)
- ④ 教育力の向上(小・中学生等の外国語力向上3.8億円他)
- ⑤ 健康づくりとスポーツの振興(大規模スポーツ大会開催誘致検討0.2億円他)
- ⑥ 多様な主体との協働と住民主体のまちづくり(活力あるまちづくり支援4.8億円他)

『環境』を大切に、質の高い暮らしができるまちづくり

- ① 環境共生型のまちづくり(直営灯・防犯灯のLED化推進0.9億円他)
- ② 水と緑のまちづくり(かなたけの里公園整備事業6.5億円他)
- ③ 食と環境を支える農林水産業(新青果市場整備事業54億円他)
- ④ 安全で安心な都市環境(車道における自転車走行空間整備1.8億円他)

『都市』の魅力に磨きをかけ、活力に溢れるまちづくり

- ① 観光・集客都市づくり(外国クルーズ客船受入事業03億円他)
- ② 知識創造型の産業の振興と国際ビジネス機能強化  
(研究開発拠点形成促進事業10億円他)
- ③ 中小企業の競争力・経営基盤の強化(商工金融資金融資枠拡充1212億円他)
- ④ 陸・海・空の玄関口の機能強化と総合交通体系の確立(地下鉄七隈線延伸4億円他)
- ⑤ 活力創造をリードする拠点づくり(公団に産学連携交流センター整備2億円他)

## 自民党福岡三区支部長に古賀篤氏が就任

長年にわたりご活躍された前衆議院議員・太田誠一氏(元農相)のご勇退により次期支部長が公募されました。大原市議を含む自民党福岡県連の選考委員会において協議を重ねた結果、十二名の応募の中から満場一致で古賀氏に決定しました。

同氏は福岡市出身の40歳、東大卒、財務省官房付出身という経歴もさることながら人柄も申し分なく「覚悟と責任を持ち人生をかけて、ひたむきに政治に取り組んでいく」と決意を表明、これからの国政を担う人物として高く評価しています。

七月に行われた大原やすお後援会代表者会でも古賀氏を支持していくことが了承されました。古賀衆議院議員が誕生すれば、大原市議にとっても力強い存在になります。大原市議同様よろしくお祈りします。



プロフィール  
1972年福岡生まれ。久留米大附設高校から東京大学法学部。卒業後1997年財務省入省。主計局主査、大臣官房の課長補佐のほか各庁への出向を経験。2012年5月財務省を退職し現職。

政治がしつかりしないと、国は良くなりません。政治家の責任は極めて重大であり、私は政治家として、日本が抱える多くの課題の一つひとつ地道に取り組み、明るい未来を築いてまいります。ご支援のほどよろしくお祈りいたします。

## 陳情も速やかに対応!

身近な市議でありたい。

大原議員はいつも地域のことを考え、皆様の1番近くにいる身近な市議でありたいと心がけています。皆様から寄せられる陳情なども気軽に、しかも速やかに対応して喜ばれていただきます。  
たとえば…

未稿



市政報告会を開いています。

福岡市政のあらましや議会での質問・答弁の報告と、みな様のご意見を頂いたり地域の要望を伺うために市政報告会を開いています。みな様の地域での報告会にぜひお越しくださいます。



### 後援会からのお知らせとお願い

#### 自民党支部(早良支部)設立準備中

自民党福岡3区支部長に古賀氏が就任されたのを機に自民党支部を設立し、皆様や地域のニーズに確かに応えていきたいと考えております。ご入党をお願い致します

#### 今年も行きますバスハイク

今年もバスハイクの計画が進んでいます。お問い合わせでご参加ください。お待ちしております。

発行

### 大原やすお事務所

福岡市早良区次郎丸4丁目9-37(サンラーク次郎丸)  
TEL 092(863)9567 FAX 092(863)9568  
ホームページ <http://www.oohara-yasuo.jp/>

携帯サイトのご案内



こちらのQRコードを読み込み、表示されるURLからアクセスしてください。



博多どんたくのPA  
リードに福岡市議団も参加しました。左より3人目が大原議員。なかなかお似合いです。議員をぐつと身近に感じますね。





福岡市議会・予算特別委員会および第3回定例会において私たち早良区に關係深い重要な課題について質問いたしました。質問及び答弁の骨子は次の通りです。

### 予算特別委員会

平成24年3月22日

#### 早良区南部地域の活性化について

**質問** 早良区南部は高齢化等により活力が低下、その活性化へ向けて「早良みなみ塾」が開かれ自主的な取り組みが行われています。行政も連携する必要があると思いが所見をお伺いします。  
また、南部は市街化調整区域など土地開発規制条項があつて開発行為が難しいようです。どのような建築要件になっているのかお尋ねします。

**答弁** 市全体でも高齢化が見込まれる中で地域自らが課題に取り組むことは大変重要だと認識している。今後も区役所、関係部局が連携し検討を行う。

市街化調整区域は良好な自然環境及び優良な農用地等の保全に設けられたものだが例外的に開発が可能なものもある。今後も自然環境の保全などを基本に地域のまちづくりを支援する。

**質問** 福岡市の食文化、これを支える農業・漁業の従事者の高齢化が進んでいますが、本市の現状と課題についてお尋ねします。また、どのような担い手確保の対策を行なわれるのでしょうか。

**答弁** 農業では、認定農業者の育成、後継者の支援、相談窓口の充実や技術取得事業等環境づくりに努め、施設整備や機械導入に対する支援を行う。

漁業では、国や県の漁業就業支援の活用、また直販事業を支援するほか開発から販売までが一体となった6次産業の支援、漁港づくりや共同施設の支援に努める。

#### 地域産木材の利用促進について

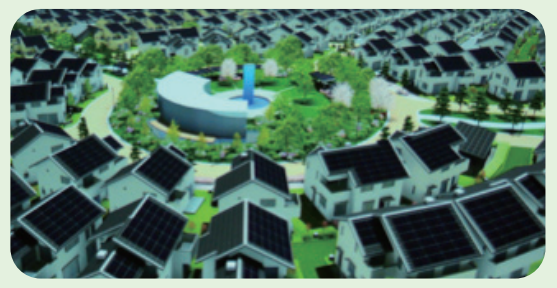
**質問** 戦後植林されたスギ・ヒノキは利用可能な木材となつていますが、外国産木材の大量輸入により国産木材の長期低迷が続き、伐採が手控えられています。地域産木材を公共施設等で利用を促進することで林業の再生が図られ、地域産業の振興と雇用確保につながると思いますが方針をお伺いします。

**答弁** 平成21年に国の森林・林業再生プランが策定され22年には公共建築物等における木材の利用促進に関する法律が施行された。これを受け24年度中に本市の方針を策定し地域産木材の利用促進に実効性のある取り組みを進めたい。

#### 観光施策について

**質問** 本市の経済戦略の一つにアジアをターゲットにした集客観光施策がありますが戦略的にとどのように取り組もうとしておられるのか、また観光におきま

する。太陽光発電システム(写真)と家庭用蓄電池を大規模に装備するなど、自然エネルギーにより、世代を超えて暮らせる持続可能な街づくりを目指している。平成25年度の街開きを目指している。



#### 柏の葉国際キャンパス構想

同キャンパス構想は、千葉県、柏市、東大(写真)、千葉大の4者によって柏キャンパス駅周辺の区画整理地約170畝のエリアを「環境、健康、創造、交流の街」を基本コンセプトに、国際芸術都市づくりを目指して平成20年に策定された。

しても近隣都市や九州の各都市との競争・協調が大切であると思いますがどのように行っていくのかお尋ねします。

**答弁** 平成24年度の経済観光文化新局新設により観光推進の第1歩を踏み出す。交流人口が増えることで経済への影響は大きい。本市の歴史的な遺産や独自の文化を観光に活用できるように磨き『福岡でもう一泊』に繋がる魅力づくりを検討中。

都市間の連携は非常に重要で海外での観光開発説明会や旅行会社訪問等、共同でプロモーション活動を実施している。

### 第3回定例会

平成24年6月25日

#### 自転車利用の促進と安全対策について

**質問** 自転車は交通渋滞の解消、温暖化対策としても重要です。道路下水道局に「自転車課」が設けられたことは評価できますが、利用者増加に伴う事故増加の抑制、走行空間の整備、駐輪場整備等、自転車の安全利用に対する取り組みをお伺いします。

**答弁** 自転車利用者の交通ルールの遵守・マナー向上を図るため自転車教室の開催や街頭キャンペーンの実施等に取り組む、今年度中に条例を検討している。



まえ、自転車レーンや駐輪場の整備等走行環境の整備に取り組んでいく。

#### 「国際リニア」ライダー」背振山系への誘致について

**質問** 宇宙起源の謎を解き明かすと期待されている素粒子実験施設「国際リニアコライダー」事業は、技術発展や経済効果は勿論、夢のある壮大な事業です。この事業の候補地として、背振山系が有力視されています。積極的な誘致活動を望みます。

**答弁** 平成19年に福岡県・佐賀県主体で誘致活動を行っているが、まだ政府レベルでの検討は行われていない。

科学技術の振興、国際貢献に寄与できることは大きな魅力であるが、不明な部分もあり、市民に情報提供しながら大学の「知」の集積などをアピールし誘致活動に取り組んでいきたい。

#### 市職員の地域ボランティア参加促進について

**質問** 公務員の方、特に市職員の方が地域活動に参加し一住民として地域を見ても必要だと思えます。行政に携わる上でとても有意義だと思えますが市職員の地域参加の状況と参加促進についてお尋ねいたします。

**答弁** 職員アンケートでは約4割の職員が「参加または時々参加」と答えている。地域と市役所が協働し安心・安全で住みよいまちづくりに取り組むことが重要であるから、積極的に参加できるように各職場での理解と配慮を求めながら自発的参加を呼び掛けていきたい。

#### おおき循環センター「くるるん」

大木町は、ごみの資源化や自然エネルギーの普及など環境型の地域社会づくりを目指している。おおき循環センター「くるるん」は、循環の



様々なイベントプログラム活動が展開されている。

企業、大学が連携、協議して、まちづくりを考え、実践するための組織として「柏の葉アーバンデザインセンター」を平成22年に設立。同センターが事務局となつて4者のフォローアップ体制を整え、空間デザインの提案や調整、

まちづくりの拠点として、平成18年にバイオマスセンターがオープン。町内から発生する生ごみや尿・浄化槽汚泥などを、エネルギーや肥料として地域の中で循環活用している。これらの生ごみや、尿・浄化槽汚泥をメタン発酵させ発電などのエネルギーとして利用。そして発酵後の消化液を有機肥料(液肥)として活用している。液肥は町内の農家の皆さんには無料配布。はじめは慎重だった方々も、その効力がわかり、今では、順番待ちのこと。



また、平成22年から処理施設敷地内に農産物直売所、地産地消レストランを備えた、道の駅「おおき」がオープン、同町が目指す循環のまちづくりの拠点が完成した。



議員活動の一環として行政先進地を視察しています。神奈川県藤沢市の「スマートタウン構想」、千葉の「柏の葉アーバンデザインセンター」それに福岡県大木町の「くるるん循環センター」いずれも素晴らしい発想、アイデアで成果を挙げられています。これらを参考に福岡市、とくに早良区の発展・活性化に寄与できないものか、皆さんと共に考え協力していきたいと考えています。

#### 藤沢市のスマートタウン構想

藤沢市は、パナソニック(旧松下電器)工場撤退地、約19畝に地球温暖化対策の先進的モデル地区として、約千戸の住宅と商業・公園などを含む大規模なスマートタウンを開発